

第3回 寝屋川市保育所民営化に係る
事業者選定委員会会議録

1 日時

平成25年11月25日（月）午後6時～午後6時40分

2 場所

市立ひなぎく保育所

3 出席委員（5名）

安藤委員、高橋委員、木村委員、吉本委員、森田委員

4 欠席委員

なし

5 保護者参加数

21名

6 会議次第

- (1) 選定委員紹介
- (2) 保護者からの意見
- (3) その他

会議録

事務局：第3回寝屋川市立保育所民営化に係る事業者選定委員会を開催する。本日は、選定委員に保護者の皆さんの思いを伝えていただき、事業者選定の参考にさせていただくという趣旨でお集まりいただいた。皆さんの率直なご意見をお聞かせいただければと思う。なお、ひなぎく保育所民営化対策委員会で作成されたアンケート結果は、10月30日に開催した第1回の選定委員会で、選定委員の皆さんにお渡ししている。また、第2回選定委員会では、選定委員全員がひなぎく保育所に来られ、実際に保育の様子等を見学していただいている。それではまず、選定委員の紹介をさせていただきます。

<選定委員 紹介>

事務局：それでは、保護者の皆さんからの意見をお願いしたい。

【保護者意見】

- ・選定委員の皆様には保護者のアンケート結果を配布させていただいている。先生方に公立の保育についてお聞きし、アンケートを作成した。7月頃から全世帯に配布し、回収率は75%だった。アンケート結果で、最も多かった希望は「手作りおもちゃ」だった。公立保育所ならではのあたたかいおもちゃを大事にしてほしい。次に多かったのは「所外散歩」だった。健康な体作りと同時に自然・人・物との出会いや発見がある。散歩の経験が子ども達の感性を育てていくので大事にしていただける法人を望む。散歩と同数だったのが、「常勤の看護師の配置」だった。募集要領にも入っていたが、子ども達の健康を守るという点で大切にさせていただきたい。3番目に多かったのは「アレルギーの対応」、「リズム・表現」、「健康な身体作り保育」だった。以上、3番目までで90%以上の保護者が望んでいる内容となっている。他にも、自由記載では細かい意見がたくさん出ていた。これらの意見も聞いていただければと思う。
- ・保育所で給食を作っていたらいい。アレルギー対応をしていただきたい。ひなぎく保育所には駐車場がなく、送迎のピーク時には前の道路に5、6台駐車しており、近隣からクレームが出ている。駐車場を借りていただく等、ハード面の整備をお願いしたい。
- ・3歳児から主食を持参しないといけない。温かいご飯を提供してほしい。先生と子どもの距離が近く、細かいところまで見てもらっている。職員数をできるだけ減らさずに、細か

く見てもらいたい。

事務局：今までの民営化園でも主食提供がテーマになることが多い。事業者を選定するときのテーマではなく、事業者決定後に話し合う。できれば、保護者の中で意見をまとめていただければ、話し合いはスムーズに行くかと思う。

【保護者意見】

- ・泥んこ遊び、小麦粉やおからを使った遊び等、いろんな遊びをさせてもらっている。家ではなかなかできない。子どもは初めての体験で喜んでいたので続けてほしい。
- ・夏場、毎日シャワーをしてもらっている。体が強くなるし、あせもができない。先生方は大変だと思うが感謝している。続けてほしい。
- ・このまま何も変わらず引き継いでもらうのが、親にとっても子どもにとっても安心。
- ・ひなぎくの先生はすごく良い先生で、子どもは帰ってきてから先生の話をよくする。そういうところを引き継いでいてほしい。
- ・担任とコミュニケーションが取りやすく、子ども達の日々のこともわかりやすく説明してくれる。おもちゃが手作りで安全なものばかり。このままの先生方のやり方で、コミュニケーションが取りやすい環境でいてほしい。
- ・他の民営化園であったが、発表会のとき等預かってもらえない日が増えると困る。そういうことがないようにしてもらいたい。
- ・子どもがケガをすると、担任以外の先生でも気にかけて声かけしてくれる。どの先生も子どものことを把握できるような環境であってほしい。
- ・先生との関係がとても良い保育所。保護者が安心感を持っているから、子どもも安心して保育所に通える。先生の顔が見える、保育の中身が見える事業者だったら良いと思う。保育所内容は様々。ひなぎくでは、白組を見通した上での緑組は過ごしているし、緑組を見通した上で黄組は過ごしている。そういうところは変えないでほしい。先生方がどういうところで勉強し、どういうところで実践を積んできているのか、同じような保育感を持った法人であってほしい。
- ・昨年、初めて子どもを保育所に入れた。保育所がどういう施設かわからなかったが、先生が温かく、育て方も教えてもらえ、安心して預けられた。4月に担任が変わったが、温かさは同じで、ひなぎく保育所に入れて良かったと思った。子どもが便をしたら、お湯でお尻を洗ってくれるのは、一番ありがたいと思った。
- ・遊びを大切に、子ども同士の関わりの中で、育ち合いを大切にしてほしい。今のまま保護

者と先生の距離が近い保育園であってほしい。

- ・民間園では、運動会や発表会が見栄え重視で、日々の練習がきつい保育園がある。子どもに負担なく、日々していることを発表してくれるような保育園であってほしい。
- ・子どもが障害を持っているが、担任、所長、他の先生みんなが子どもの様子を把握し、こまめにケアしてくれている。少人数保育をしてもらっており、子どもも安心して過ごせている。あかつき・ひばり園から発達の巡回相談もしてもらっており、今後も残してもらいたい。

事務局：保護者の皆さんの率直な意見を聞いていただいた。委員の皆さんに感想をいただきたい。

委員：保護者の方の意見を聞いて、職員はすごく嬉しかったと思う。励みになったし、保護者や子ども達に不安がないように、引継ぎをやり遂げるエネルギーの源にもなったと思う。保護者の方たちの願いを叶えていただける事業者を選定していきたい。

委員：先生との距離が近くてコミュニケーションが取れているということ、公立ならではの手作り感やきめ細かい保育を引き継いでもらえる事業者、民間保育園の派手さや見栄えではない、子どもひとりひとりを大事にする事業者を希望されていると感じた。どこまで見極められるか課題だが、心に留めておきたい。

委員：先生と子どもの距離を大切にしてほしいという意見が多かったと思う。また、変わることへの不安が大きいと思った。今までどおりの保育をしていただける事業者を選定していきたいと思う。保護者の皆さんの思いをできる限り叶えていきたい。

委員：駐車場がないということで、送迎時の駐車が危ないと思う。その点も解決できれば良いかと思った。

委員：アンケートにもあるように、改善する所は改善する、残さなければならない所は残すということだと思う。応募事業者がどういうことをしようとしているのかを見極めていく必要があると思う。子どもが生き生きと喜んで登園してくる保育園であってほしい。また、なんでも保育士がするというのではなく、子どもに体験させ、発達を促していくという保育を研修等で学んでいける事業者を選んでいきたい。

事務局：言い忘れ等があれば、こども室か所長に言っていただきたい。選定委員さんにお伝えする。本日はこれで終了する。